

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成27年度 講義要目(シラバス)

| | |
|------|--|
| 科目名 | 情報環境先端演習 |
| 英文名 | Advanced Topics on Information Environment |
| 学部学科 | 先端科学技術研究科 情報通信メディア工学専攻 |
| 配当学年 | 1・2・3年次 |
| 開講時期 | 通年 |
| 単位数 | 4.0 |
| 必選区分 | 選択 |
| 担当者名 | 大山 実 |

| | |
|-----------------|--|
| 目的概要 | 次世代のContext Awareness 通信システムを構築するため設計手法を確立する。さらに、同システムを構築するために必要となるセンサネットワーク、自然言語処理、データベース、データマイニング、音声処理、画像処理に関する広範囲に渡る技術力を培うことを目的とする。 |
| 教科書名 | 科目の性質上、特になし。 |
| 参考書名 | 特に指定せず、適宜、紹介する。 |
| 評価方法 | 活動内容(50%)、報告書(20%)、成果物(30%)により、総合的に評価する。 |
| テーマ・内容 | 次世代のContext Awareness 通信システムを構築するための設計手法を確立するために、基本となるセンサネットワークやデータベース技術を習得することが必要となる。さらに、より高度なシステムを構築するためには、自然言語処理技術や、音声処理、画像処理技術、データマイニング技術も必要となる。実施に当たっては、まず人間の行動を決定付けている要素の抽出を行い、これらを元の実験システムを構築し、実運用を行なうことにより、その有効性の評価を行なう。実験システムを構築する過程で、前記の技術に加えて、ソフトウェア設計手法、データベース構築手法、システム運用技術、システム評価手法等を習得することができる。実施にあたっては、研究室内外での議論や、国内外の文献調査や、学会・シンポジウム等に参加して論文発表を積極的に行うことにより、研究内容の充実を図る。 |
| E-Mail address | ohyama@mail.dendai.ac.jp |
| 履修上の注意事項・学習上の助言 | 研究論文を効率的にまとめるために、同教員と積極的に議論し、報告を密に行うことが望まれる。 |